新幹線・駅周辺整備特別委員会会議録

日　　時　　令和３年　１月　８日（金）　　　開会時間　午後　１時００分
閉会時間　午後　１時３５分

場　　所　　加賀市役所　３０１会議室

出席委員

委員長	辰川志郎	副委員長	中川敬雄
委員	南出貞子	委員	田中金利
委員	林　直史	委員	岩村正秀
委員	新後由紀子	委員	川下　勉

欠席委員　　なし

出席説明員

経済環境部長	山田圭一	建設部長	嶽野一義
観光推進部次長 兼誘客推進課長	宮永正人	経済環境部次長 兼環境政策課長	米屋直樹
観光交流課長	中野秀俊	観光交流課参事	出渕明美
商工振興課長 兼企業誘致室長	高見幸広	都市計画課長	西田佳津男
新幹線対策室長	中野　豊	新幹線対策室 参事	屋後孝紀
管理課長	永田万寿実	建築課長	嶌﨑建治

欠席説明員

観光推進部長	中村　誠

協議事項

　１　北陸新幹線金沢敦賀間開業遅れに伴う工事スケジュールの見直しについて

その他

経　過　内　容

○辰川委員長　ただいまから、今年初めてとなります新幹線・駅周辺整備特別委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、私から説明員の皆様に御連絡いたします。今後、案件の説明を行う場合、長くなるようであれば着座のまま説明していただいて結構です。ただし、質疑に対する答弁の際は、挙手の後、起立にてお願いいたします。

協　議　事　項

1　北陸新幹線金沢敦賀間開業遅れに伴う工事スケジュールの見直しについて

○辰川委員長　それでは協議事項に入りたいと思います。

北陸新幹線金沢敦賀間開業遅れに伴う工事スケジュールの見直しについて、当局より説明をお願いいたします。

中野新幹線対策室長。

○中野新幹線対策室長　それでは、資料Ｂ01、資料①北陸新幹線金沢敦賀間開業遅れに伴う工事スケジュールの見直しについて、説明させていただきます。

座って説明させていただきます。

よろしいでしょうか。

○辰川委員長　はい、どうぞ。

○中野新幹線対策室長　それでは１、北陸新幹線金沢敦賀間開業遅れに伴う工事スケジュールの見直しについて、説明させていただきます。

北陸新幹線関連の工事につきましては、鉄道・運輸機構が行います新幹線建設工事、それから加賀市が行う駅周辺整備、そして西日本旅客鉄道株式会社が行う在来線の新駅舎建設工事がございます。

これについて説明する前に、留意事項について説明したいと思います。

このスケジュール表につきましては、これまで鉄道・運輸機構、西日本旅客鉄道株式会社から説明を聞いた内容を基に、加賀市が作成したものであります。また、仮駅舎の撤去時期についてですが、こちらのほうは西日本旅客鉄道株式会社と協議しながら、今後スケジュールを決めていくこととしております。

この表につきましては、当初の計画に従って、開業が遅れることによって、それに合わせたスケジュールにしております。この点を御留意いただきながら、説明のほうをさせていただきます。

まず、新幹線建設工事であります。

新幹線建設工事につきましては、皆さん御存じのとおり、開業が約１年遅れるということになっております。これにつきましては、加賀市内での工事は、新幹線駅舎建築工事、高架橋工事、軌道・電気工事、主に３つがございますが、このうち新幹線駅舎建築工事、高架橋

工事は、当初の予定どおり行うこととされております。
新幹線駅舎建築工事につきましては、昨年の10月に着工いたしまして、令和４年度の上半期に完成する予定となっております。
次に、高架橋工事、こちらのほうは今も行われておりますが、令和３年度、来年度の秋頃までには完成予定となっております。
続いて、軌道・電気工事であります。この中で、加賀トンネルの工事、こちらのほうが約１年遅れるということで、それに伴ってレールを敷く工事、電車線ですね、それを引く工事が１年遅れるということで、こちらのほうは当初の予定よりも１年遅れる形となります。
これらの工事が終わった後、令和５年度に試験走行が行われ、令和５年度末に北陸新幹線金沢敦賀間の開業となる予定となっております。
続きまして、加賀市の駅周辺整備工事であります。
こちらのほうは、南側の駅前広場、それから２番目、高架下都市施設、３番目、北側広場、３つに分けてスケジュールを立てております。こちらの工事につきましては、北陸新幹線の開業が１年遅れることとなったこと、それから、今年度中にこれら全ての実施設計を終えることとなります。既に、駅前広場と高架下都市施設の設計は終えており、これらの設計の結果と、それから開業が遅れることとなったことに伴いまして、工事スケジュールの見直しを行いました。
そのところ、次の資料、次のページを見ていただきながら、説明したいと思います。
こちらの図は、最終的な加賀温泉駅周辺整備の工事完了予定図になります。このように赤線で囲んでおりますのは、完了予定時期をそれぞれ示しております。
なお、これまでの計画では、こちらのほう、ちょっと分かりづらいんですが、アビオシティ加賀側の真ん中の黄色い線の部分からちょっと右下の令和４年８月と赤い線で囲われている部分、こちらの工事、12月補正予算でも上げましたが、当初、来年度の４月頃から工事を行う予定としておりました。
ですが、開業が１年延びるということで、時間的な余裕が生まれるということもありまして、こちらのほうにつきましては、今の令和４年８月の部分、こちらのほうは現在、旅館送迎バスの駐車場となっております。旅館送迎バスの駐車場につきましては、代替の駐車場を設けないと、この箇所の工事が行えません。そのため、当初の予定ではこの敷地の外、具体的にいいますと、アビオシティ加賀の駐車場、美術館の裏側を借りて、そこに旅館の送迎バスの駐車場を代替として設け、その代替の駐車場ができた時点で、現在の旅館送迎バスの駐車場の箇所の工事を着手する予定としておりました。
ただ、代替となりますと、土地を借りたり、それからこの代替の駐車場の位置が仮駅舎からかなり離れているといったり、加賀温泉駅を利用する人にとってはかなり不便をかけることとなります。
そういったこともありまして、見直しをかけました代替案、変更案は、この令和４年８月

の少し上の辺り、令和４年３月と囲われている赤い線部分、実はこの場所は現在、鉄道・運輸機構が工事のために借地している部分になります。こちらのほうは、令和３年８月まで鉄道・運輸機構が市から借りて、工事ヤードとして使用することとなっております。この部分が令和３年９月以降に加賀市に戻されるため、この部分をまず先に工事し、出来上がったところで、先ほど言いました旅館送迎バスの駐車場の代替施設をこの箇所に設けることによって、今の駅前広場の敷地の外に代替施設を造らなくてもいいこととなります。また、代替施設が仮駅舎から近いといった、加賀温泉駅の利用者の利便性も確保できるといったことから、こういった見直しを行いました。

また、こちらの図でいきますと左側になりますけれども、こちらの左側の新幹線駅舎に近い部分につきましても、高架下都市施設と駅前広場の工事の調整を図ったところ、若干スケジュール的に厳しい面がございましたので、開業が１年遅れることに併せて、工事を着実に安全に行うために、スケジュールの見直しを行いました。

こういった理由で、スケジュールを見直しまして、先ほどの１ページ前の表を御覧になっていただきまして、駅前広場の工事につきましては、令和５年度の末、年度末の開業までに工事を完成させる予定としております。また、併せて高架下都市施設も同様に、令和５年度末までに完了予定としております。

なお、北側広場につきましては、令和４年度に１年間かけて工事を完成する予定としております。

このような見直しを行うこととしております。

続きまして、西日本旅客鉄道株式会社が行う在来線の新駅舎の建設であります。

こちらのほうは、令和２年度、今年度、地下通路延伸工事が行われております。今年度末で工事が終わり、令和３年度から建築工事が始まります。実は、こちらのほうの工事内容について、昨日、西日本旅客鉄道株式会社から説明を受けまして、この建築工事ですが、最終的な仕上げを、北陸新幹線開業が１年遅れるということで、こちらの表を見ていただいてもお分かりのとおり、令和４年度から令和５年度にかけて２年間、駅舎ができても空白期間といいますか、できたままそのまま開業を迎えるというような形となります。そうしますと、せっかく新しい駅舎ができても、２年がたつことによって、やはり少し経年劣化といいますか、そんな傷みはないと思うんですけれども、そういったことも考えられます。

そういったことで、外壁だけの工事を令和３年度中に終わらせて、一旦工事を休止した後、令和５年度末の開業見通しになっておりますが、開業に合わせて内装工事などを行うこととしております。

在来線の新駅舎につきましては、令和５年度末の北陸新幹線金沢敦賀間開業に合わせて完成となります。開業後には、その駅舎がＩＲいしかわ鉄道株式会社の加賀温泉駅の駅舎として営業されることとなります。

先ほど見ていただいた図、２ページの完了予定時期につきましては、工事の順番としまし

ては先ほど説明しました。再度説明いたしますと、まず、真ん中の丸い部分、ラウンドアバウト、それから今、タイムズ24株式会社の駐車場となっております駐車場部分、こちらのほうを令和３年８月までに完成予定としております。

そして、次にこちらの図、右側のほうになります。右側の上の部分、バスエリアですが、こちらのほうを令和４年３月までに完成し、その下の部分は令和４年８月までに完成予定としております。

そして、反対側へいきまして、左側にありますこちらのほうを、開業までに完成させる予定で、タクシーの駐車場並びに一般車の駐車場は、令和５年８月までの完成予定としております。

なお、北側につきましては、令和５年３月末の完成予定ということで、今のところ計画を立てております。

簡単ですが、これで説明のほうを終わらせていただきます。

すみません、もう一つ、説明漏れがございました。

12月補正予算で上げました歩行者支援施設の負担行為につきましては、今回の工事の見直しに合わせて、負担行為の期間を令和２年から令和３年にかけて期間を見直しまして、令和２年から令和４年と見直す変更をかけることとしております。

以上で説明を終わらせていただきます。

○辰川委員長　ただいま、北陸新幹線金沢敦賀間開業遅れに伴う工事スケジュールの見直しについて、当局より説明がありました。

委員の皆様から御質問、御意見等はございませんか。

岩村委員。

○岩村委員　１つだけ確認しておきたいと思うんですけれども、今、スケジュールのほうを見直すということであるんですが、我々、新聞報道でしかその組織、鉄道・運輸機構の組織自体のことをあまり知らないんだけれども、何か先般、大阪支社の理事長、副理事長を解任して新たな組織をつくるというような報道が、たしかあったと思うんですけれども、そうすると、今後、こういったスケジュールも含めて連絡体系、加賀市との窓口というのは一体どういうことになっていくのか、分かる範囲内でお願いします。

○辰川委員長　中野新幹線対策室長。

○中野新幹線対策室長　新聞でも報道されておりましたが、鉄道・運輸機構の組織の見直しということで、石川県、福井県それぞれに指令本部みたいなものができるということで報道されております。まだ、具体的な説明は鉄道・運輸機構からされておりません。情報共有を図るということで、定期的に連絡会みたいなものを開催するという内容は新聞にも示されておりましたけれども、まだ市のほうでどういったところが窓口となり、県及び鉄道・運輸機構と情報共有を図るのかといったところは、これからになるかと思っております。

また、そういった組織の変更、それからそういった情報共有の連絡会、ちょっと正式な名

称は分かりませんけれども、そういったものがいつ頃開催されるか分かりました時点で、また、この委員会で報告させていただきたいと思います。

○辰川委員長　岩村委員。

○岩村委員　そうすると、今、報告されたスケジュール等も今後変わる可能性があるのか。

○辰川委員長　中野新幹線対策室長。

○中野新幹線対策室長　昨年、鉄道・運輸機構から今回の工事の遅れに伴う説明の中では、加賀トンネルの約１年の工事の遅れはありますけれども、その他の部分、駅周辺、それから加賀トンネル以外の高架橋工事の部分については、今までどおり、計画どおり進められていくということで、こちらのスケジュールは正式なものではありませんけれども、このようなスケジュールで変更はないとは思っております。

○辰川委員長　岩村委員。

○岩村委員　これも新聞報道でしか我々は知らないのだけれども、新聞によると、一昨年の10月から、鉄道・運輸機構のほうではもう工事は遅れるということを把握しておったと書いてあるんですけれども、そして去年の７月には、もう２年間遅れるということを把握しておったと。それで県のほうに、昨年の11月に報告があったということで、今まで遅れるということを報告してこなかったのではないかと、我々は新聞でしか分かりませんが。

　そうすると、今度また組織を見直してやるということで、もちろん検証委員会でそれを検証した結果、遅れについて１年が妥当であるというようなことで把握したんだろうけれども、本当にそれを信用できるのかということはどうですか。皆さんに言ってもいけないのだけれども。

○辰川委員長　中野新幹線対策室長。

○中野新幹線対策室長　１年遅れが妥当かどうかというのは、ちょっと私の見識の中ではお答えしかねる部分があると思いますけれども、今後、鉄道・運輸機構のほうでは、地元、県、それから市と連絡を密にしながら、工事のスケジュールを詰めていきたいということで聞いておりますので、今後、これまでのようなことがないように、逐次何か変更があった時点で説明を求めていきたいと思います。

○辰川委員長　よろしいですか。

○岩村委員　いいです。

○辰川委員長　ほかにございませんか。

　中川副委員長。

○中川副委員長　これは本会議でも聞いたんですけれども、仮駅舎撤去を北陸新幹線開業後というふうになっていますけれども、それで、ＩＲいしかわ鉄道株式会社の加賀温泉駅開業も北陸新幹線開業後ということになっていますけれども、これはそのまま受け入れたんですか。協議した結果こうなったんですか。それともさらに、やはり完全開業できるように、これはあくまで向こうが提示したものであるというものなのか。そこをちょっとはっきりもう一度

説明していただきたいと思います。

○辰川委員長　中野新幹線対策室長。

○中野新幹線対策室長　先ほどちょっと説明が不足していた点がありました。すみませんでした。

　仮駅舎の撤去の時期につきましては、今後、西日本旅客鉄道株式会社金沢支社、そちらの担当部署と、仮駅舎を開業前に撤去するためにはどのような方法があるのか協議していくことで、昨日の打合せの中でも、今後そういった協議の場を持とうということになっておりまして、また、その協議結果につきましては、決まった事項については、委員会等で報告していきたいと思います。

○辰川委員長　中川副委員長。

○中川副委員長　あと、仮駅舎を撤去するとありますが、ＩＲいしかわ鉄道株式会社の加賀温泉駅開業も、これも早くすることはやっぱりできないんですか。そこはどうなんでしょうか。

○辰川委員長　中野新幹線対策室長。

○中野新幹線対策室長　ＩＲいしかわ鉄道株式会社の駅を開業前に営業するということにつきましては、開業前は西日本旅客鉄道株式会社の資産として運用するということになります。それにつきましても西日本旅客鉄道株式会社との協議になるんですけれども、仮駅舎の撤去と合わせて、その運用、営業ができるのかどうか、そこも今後の協議の中で詰めていきたいと思っております。今の段階でどのような課題があって、どのような解決案があるのかということは、今後の協議の中で詰めていきたいと思っております。

○辰川委員長　中川副委員長。

○中川副委員長　北側のほうも、北側広場ができてしまって、駅舎もできてしまって、内装ができてしまえば、運用できそうな気がするので、できる限り北陸新幹線金沢敦賀間開業のときには完全な形での開業を目指すということを、本会議での答弁でも宮元市長のほうも言われておりましたので、ぜひそれを念頭に置いて、西日本旅客鉄道株式会社、そして鉄道・運輸機構と十分詰めていっていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○辰川委員長　よろしいですか。

　ほかに御意見はございませんか。

（発言する者なし）

そ　の　他

○辰川委員長　ないようでしたら、次に、その他として、当局からの報告事項、連絡事項等の説明をお願いいたします。

　中野新幹線対策室長。

○中野新幹線対策室長　それでは、その他の報告事項ということで、説明したいと思います。

　資料はＢ02、その他資料①になります。

よろしいでしょうか。

よろしければ、座って説明……

○辰川委員長　座ってどうぞ。

○中野新幹線対策室長　ありがとうございます。

北陸新幹線建設工事費の増額に伴う地方負担について説明いたします。

こちらのほうも、新聞報道等で御存じのとおり、北陸新幹線の工事費が増額になるということになっております。

まず、こちらの増額、それからその財源の説明をする前に、整備新幹線の財源の仕組みについて説明したいと思います。

図１を御覧になっていただきたいと思います。

新幹線の建設工事費、その財源は、ＪＲ貸付料、国、地方、それぞれが負担することとなっております。まず、ＪＲ貸付料をまず第一に、優先的に充当いたします。そして残った分に対して、国、地方が、国が３分の２、地方が３分の１で負担するというルールになっております。

今回の工事費の増額につきましても、この財源のルールに従い、負担が決定されております。

次に、工事費の増額について説明いたします。

図２を御覧になっていただきたいと思います。

事業費の増額は2,658億円となっております。そのうち、事業実施に伴うもの、それから外的要因に伴うものということで分けております。外的要因に伴うもの、物価上昇、地質不良対策、この地質不良対策は、現在、額が分かっている分を確定分として示しております。それから法令改正、これらの外的要因に伴うものについては965億円となっております。その他の部分については事業実施に伴うものは1,693億円になっております。

この外的要因に伴うもの、これが地方負担の対象となる費用となります。金額は先ほど言いました965億円になります。このうち財源としまして、965億円のうち、財源はＪＲ貸付料242億円がまず充当されます。その残った部分に対して、国、地方がそれぞれ負担し、国が残った部分の３分の２、482億円、地方が残った分の３分の１、241億円が負担となります。

そこで、加賀市の負担、この増額に対してどのぐらいの負担があるのかを試算したものが、その下の図３になります。

加賀市の北陸新幹線の負担金につきましては、加賀温泉駅周辺部が対象となります。そちらの周辺部の工事が対象となります。ただ、現時点ではこちらの工事、今工事中であり、最終的な金額はまだ出ておりません。

ということで、今回は、加賀温泉駅に係る金額については、当初の認可時の機構試算値を基に、その割合を基に算出しております。

といったところで、計算したものがこの表となっております。

まず、当初の認可時では、全体工事費は１兆1,600億円となっております。そのうち、加賀温泉駅周辺部分においては、192億円という試算をしております。割合としては1.7％となります。

それで、今回の増額分の地方負担241億円、これに対して加賀温泉駅の割合1.7％を掛けますと、加賀温泉駅の部分に対する地方負担は４億円となります。そのうち、加賀市が負担する部分は、この４億円の10分の１という計算となりまして、4,000万円となります。こちらのほうはあくまでも試算値であります。また、この4,000万円、こちらのほうは特別交付税措置がされまして、実質的には2,200万円ぐらいが実質的な負担となります。これにつきましてはあくまでも試算ということで、実際工事費が確定した時点で負担額が決まることとなります。

なお、この地方負担ですが、先ほどちょっと言い忘れましたが、石川県、福井県で合わせた分として241億円となっております。

以上で説明のほうを終わらせていただきます。

〇辰川委員長　以上で当局からの説明は終わりました。

委員の皆さんから御質問、御意見等はございませんか。

ございませんか。

（発言する者なし）

〇辰川委員長　ないようでしたら、そのほか委員の皆様のほうから、この際、何かございませんか。全般の中で。

岩村委員。

〇岩村委員　この委員会は、駅周辺整備も含まれておるので、加賀温泉駅周辺のいろいろな店舗であるとか、いろいろな企業が入ってくるということも非常に大事な情報なので、先般、アミューズメントパークＫＣの跡地へ大手ドラッグストアが入るという情報を聞いたんですけれども、その辺を分かっている範囲でお願いします。

〇辰川委員長　高見商工振興課長。

〇高見商工振興課長　御承知のとおり、アミューズメントパークＫＣにつきましては、県内の大手ドラッグストアが取得されたという情報が入っております。今、こちらのほうとしましては、そのドラッグストアとお話といいますか、どういうふうな状況かということで、情報交換はさせていただいておりますが、現時点でまだ公にできるような情報はないということで、そこはまた早急にどういうふうな状況、タイミングといいますか、スケジュールを設定されるのか、まだ先方も100％決めかねているというふうな状況でもございますので、そこは分かり次第といいますか、こちらのほうから御報告させていただきたいと思います。

〇辰川委員長　岩村委員。

〇岩村委員　今ほど購入されたという情報があったんですけれども、間違いないのかなと。ただ、施設が大きいものなので、ほかの店舗も入れたいような情報もちらほらと聞こえてくるんです。また、そういう情報も分かり次第、この委員会でぜひ報告をお願いしたいのと、ほ

かにありませんか。ほかの建物とか場所で。

○辰川委員長　高見商工振興課長。

○高見商工振興課長　アミューズメントパークＫＣのほかとしましては、加賀温泉駅周辺としましては、長生殿がございます。そちらのほうは株式会社北國銀行が取得されて、今後、建て替えをされるというふうな形になろうかなと思います。そちらのほうも、当然、株式会社北國銀行は入られますが、何層階にするとか、ほかに入られる企業がいらっしゃるのか、あるいはもう決定しているのか、そういったところもまだ決まっていないという状況でございます。ですので、そちらのほうもまた情報がきちんと報告できるような状況になり次第、御報告させていただきたいと思いますので。

○辰川委員長　よろしいですか。

　岩村委員。

○岩村委員　加賀温泉駅の加賀市医療センター側のところに今、何か看板が立って、建設予定地というものがあったような気がするんですけれども、道路に面したところに、そんな情報はないですか。ちょうど加賀市医療センターのほうへ入っていく角地というか……

○辰川委員長　高見商工振興課長。

○高見商工振興課長　すみません。

　そちらのほうにつきましては、その看板自体ちょっと私のほうも承知しておりません。そちらのほうで何か今建つということも特に聞いてございません。そこはまた情報が入りましたらお知らせしたいと思います。

○辰川委員長　ほかにございませんか。

（発言する者なし）

○辰川委員長　ほかにないようでしたら、以上をもちまして、本日の新幹線・駅周辺整備特別委員会を閉会いたします。

　なお、次回の委員会につきましては、再度正副委員長で調整して御連絡いたしますので、よろしくお願いします。

　本日はお疲れさまでした。